

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
医療基礎2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
鍼灸学科・夜間部	3年	2期	木目 良太郎				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
基礎分野	科学的思考の基盤人間と生活			座学	1	10	
科目概要							
衛生学・公衆衛生学の分野において、特定の集団に関連する状況や事業の頻度や分布を調べ、またそれらの規定因子との関連を検討する疫学を筆頭に、生活習慣病や成人・高齢者保健、認知症等、対象となる疾患を探っていく。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学ぶことで達成されるべき目標		国民の健康維持・増進に取り組む国内外の社会的政策(成人・高齢者保健、地域保健、国際保健など)について理解し、時々刻々と変化する社会的な健康問題に対応できる柔道整復師の育成を目指す。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		<ul style="list-style-type: none"> ・細胞の構造と機能について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・学校保健について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・産業保健について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・体液の区分と組成について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・成人保健・高齢者保健について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・精神保健について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・地域保健・国際保健について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・衛生行政と保健医療制度について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・医の倫理と安全の確保について説明、および複数の語群から適切なものを選ぶことができる。 ・疫学について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 					
履修に必要な予備知識や技能							
柔道整復師に限らず、医療専門職を目指す学生にとって、社会医学に興味がないと難解な内容も多々あります。従って、まずは授業で理解するように努めてもらえれば大丈夫です。将来的には殆どの学生が柔道整復師として社会の一員として医療サービスを届けることになるので、「衛生学・公衆衛生学」を通して「国民の健康維持・増進」に関する基礎知識を提供し、将来的には社会の健康ニーズに応えられるような科学的思考を植え付けることが出来ればと思います。							
教科書・参考書							
衛生学・公衆衛生学 第6版 (南江堂)							
受講上の注意							
短時間で結構なので、予習をしてから授業に臨んで下さい。教科書に書かれている青字の箇所に注意しながら一読していただいても大丈夫です。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	定期試験の解説、学校保健			P135-152			
第2回	産業保健			P153-174			
第3回	成人・高齢者保健			P175-192			
第4回	精神保健			P193-204			
第5回	地域保健、国際保健			P205-218			
第6回	衛生行政、保健医療制度			P219-243			
第7回	医の倫理、安全の確保			P245-251			
第8回	疫学			P253-264			
第9回	定期試験						
第10回	定期試験の解説						
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
質問があれば、メールで連絡して下さい。(kime@tokyo-med.ac.jp)							